

■演奏者プロフィール

●弦楽四重奏①



ファーストヴァイオリン

佐藤 仁美(九州交響楽団ヴァイオリン奏者)

福岡教育大学総合課程芸術コース卒業。東京音楽大学研究科修了。第48回全日本学生音楽コンクール福岡大会第1位。西日本新人演奏会に出演し、テレビ西日本賞受賞。2014年より Ensemble+PLUS 主宰。これまでに、鶴和美、太期晴子、故岡山潔、景山誠治の各氏に師事。現在、九州交響楽団、九州室内合奏団、アクロス弦楽合奏団ヴァイオリン奏者として活躍中。



セカンドヴァイオリン

眞国 みどり(九州交響楽団ヴァイオリン奏者)

北九州出身。全日本学生音楽コンクール福岡大会小学生の部第1位。全日本学生音楽コンクール福岡大会中学生の部第1位。北九州芸術祭において弦楽部門最優秀賞を最年少で受賞。くらしき作陽大学「モスクワ音楽院特別演奏コース」に入学。現在、九州交響楽団団員。



ヴィオラ

猿渡 友美恵(九州交響楽団ヴィオラ奏者)

愛知県立芸術大学にてヴィオラに転向。東京藝術大学大学院修士課程修了。第157回日本演奏連盟新人演奏会にて九州交響楽団と共演。ヴィオラを百武由紀、クロード・ルロン、菅沼準二、川崎和憲の各氏に師事。2006年より九州交響楽団、九州室内合奏団ヴィオラ奏者。Ensemble+PLUS 主宰。



チェロ

山本 直樹(九州交響楽団チェロ首席奏者)

東京藝術大学大学院修士課程を修了。在学中に安宅賞、アカンサス音楽賞を受賞。全日本学生音楽コンクール、ビバホールチェロコンクール等、多数のコンクールにおいて上位入賞。これまでにチェロを松波恵子、植木昭雄、山崎伸子、藤森亮一の各氏に師事。2018年1月より、九州交響楽団チェロ首席奏者。

●ヴァイオリンデュオ



ヴァイオリン

阿部 幸奈(九州交響楽団ヴァイオリン奏者)

6歳よりバイオリンを始める。

第28回日本クラシック音楽コンクール第5位。PMF2019,2021 アカデミー生。これまでに佐藤郁子、富岡雅美、漆原啓子、堀正文の各氏に師事。桐朋学園大学卒業後、同大学大学院修士課程を修了。桐朋オーケストラ・アカデミー修了。現在、九州交響楽団セカンドヴァイオリン奏者。



ヴァイオリン

有吉 幸乃(九州交響楽団ヴァイオリン奏者)

東京都出身。3歳からヴァイオリンを始める。桐朋学園大学音楽学部を卒業後、桐朋オーケストラ・アカデミー研修課程を修了、富士山静岡交響楽団ヴァイオリン奏者を経て、2023年から九州交響楽団にヴァイオリン奏者として在籍する。これまでヴァイオリンを深沢蘭子、大井真智子、江口有香、豊田耕児、豊田弓乃の各氏に師事する。

●弦楽四重奏②



ファーストヴァイオリン

山下 大樹(九州交響楽団セカンドヴァイオリン首席奏者)

桐朋女子高等学校音楽科卒業後、旧ウィーンコンセルヴァトリウム私立音楽大学にて研鑽を積む。在学中、年間 100 公演以上ウィーンでのソロや室内楽などの演奏会への出演等、ウィーンを中心にヨーロッパ各地で、演奏活動を展開していた。Euro Music Academy にて名誉ディプロマ受賞。これまでに扇谷泰朋、佐藤仁美、景山誠治、Nicolas Koeckert、Boris Brovtsyn の各氏に師事。2020 年 5 月より九州交響楽団セカンドヴァイオリン首席奏者に就任。エリザベト音楽大学非常勤講師。



セカンドヴァイオリン

飯田 拓斗(九州交響楽団ヴァイオリン奏者)

東京藝術大学を卒業。大学在学時より都内のプロオーケストラへ客演しているほかイギリス、ロシア各地のホールでの演奏会に出演。現在は福岡を中心にオーケストラだけでなく室内楽にも積極的に取り組む。2019 年より九州交響楽団ヴァイオリン奏者。九州室内合奏団ヴァイオリン奏者。UNO 弦楽四重奏団ヴァイオリン奏者。



ヴィオラ

田邊 元和(九州交響楽団ヴィオラ奏者)

愛媛県出身。作陽音楽大学(現くらしき作陽大学)卒業。1998 年くらしき作陽大学弦楽合奏団と共演、1999 年日演連推薦新人演奏会にて九州交響楽団と共演。現在九州交響楽団ヴィオラ奏者。アクロス弦楽合奏団メンバーとしても活躍中。



チェロ

白水 大地(九州交響楽団チェロ奏者)

京都市立芸術大学卒業。チェロを井上 忍、上村 昇、北口 大輔、林 俊昭、宮田 大、宮田 浩久の各氏に師事。福岡県高等学校音楽コンクール第 1 位及びグランプリ。全日本学生音楽コンクール名古屋大会第 1 位、全国大会にて、聴衆賞である横浜市民賞など多数受賞。平成 29 年度(公財)青山音楽財団奨学生。2022 年 11 月より九州交響楽団チェロ奏者。Musik Piepen Schule 講師。

●ヴィオラソロ



ヴィオラ

山下 典道(元 九州交響楽団ヴィオラ奏者)

作陽音楽大学(現くらしき作陽大学)卒業。1985 年 4 月に九州交響楽団ヴィオラ奏者として入団。1993 年店村眞積氏(東京都交響楽団特任首席奏者)との出会いにより「ヴィオラの音」の魅力に深く感銘を覚え、それ以後、店村氏を師と仰ぎ今日に至る。2018 年 9 月 22 日九州交響楽団を退団。現在、アルト・クレフ大濠代表(<https://www.altoclef-ohori.com/>)、九州室内合奏団主宰、「Yama ちゃん」の愛称で親しまれ、楽しいトークを交えた演奏活動を、九州各地で数多く開催し、様々な側面から聴衆を楽しめる音楽の世界へ誘い、好評を得ている。